

高める

守る

輝く

あいち社会資本整備方針2025

(2021年度～2025年度)

取組成果報告書

2026年9月

愛知県建設局、都市・交通局、建築局

- 2020年12月に作成した『あいち社会資本整備方針2025』の計画期間が2026年3月で終了したことから、計画期間(2021年度～2025年度)の取組成果を総括し、報告書としてとりまとめた。
- 『あいち社会資本整備方針2025』では、以下の3つのテーマに沿って取組を進めることとしており、各テーマ別に取組の全体を総括するとともに、具体的な進捗管理のために設定した49の取組指標ごとに、主な成果をまとめている。

<3つのテーマ>

1 あいちを高める

- 日本の成長を牽引する愛知の国際競争力を強化し、地域の活力を創出する「あいちを高める」取組を計画的に進めていく。

2 あいちを守る

- 地震・津波、風水害などから県民の生命・財産を守り、安全で安心な生活を支える「あいちを守る」取組を計画的に進めていく。

3 あいちが輝く

- 地域が魅力にあふれ、県民が快適に暮らすことができる持続可能な社会を実現する「あいちが輝く」取組を計画的に進めていく。

取組を支える方策

- 3つのテーマを支える横断的な方策についても取り組んでいく。

2021－2025年度の全体総括

◆ Pick up ! (計画期間における代表的な整備箇所と効果の事例)

あいちを高める



2022年10月(1期)、2024年3月(2期)
ジブリパークオープン
愛・地球博記念公園リニューアル

愛・地球博記念公園の年間来園者数

2020年度
156万人

約2.1倍

2025年度
324万人

あいちを守る



2023年5月
地蔵川排水機場供用

令和5年6月
台風第2号
24時間雨量
151mm

令和6年8月
台風第10号
24時間雨量
70mm

令和8年6月
台風6号
24時間雨量
97mm

排水機場ポンプの稼働により
家屋浸水被害なし

あいちを高める

あいちを守る



2025年5月
(一)羽島稲沢線 新濃尾大橋供用

旅行速度※

12.6km/h向上
[17.5km/h → 30.1km/h]

所要時間※

9分短縮
[約16分 → 約7分]

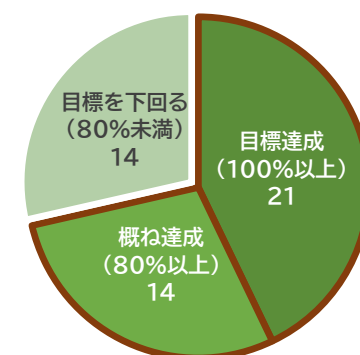
※データ区間 (主)大垣一宮線 (開通前、開通後3ヶ月の比較)
旅行速度:平日、東行(正木町三ツ柳交差点から濃尾大橋東交差点)、12時間平均
所要時間:平日、東行(竹鼻町飯柄交差点から郷東交差点)、7時台

◆ 目標の達成状況について

総指標数49項目

目標を達成・概ね達成(達成割合80%以上)・・・35項目(約7割)

目標を下回る(達成割合80%未満)・・・・・・14項目(約3割)

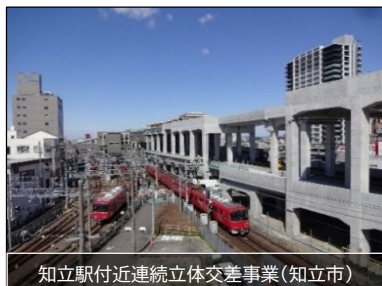
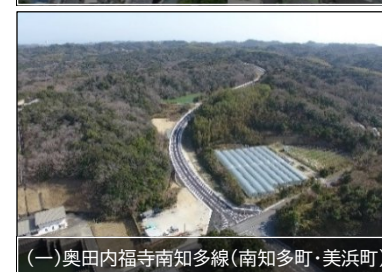
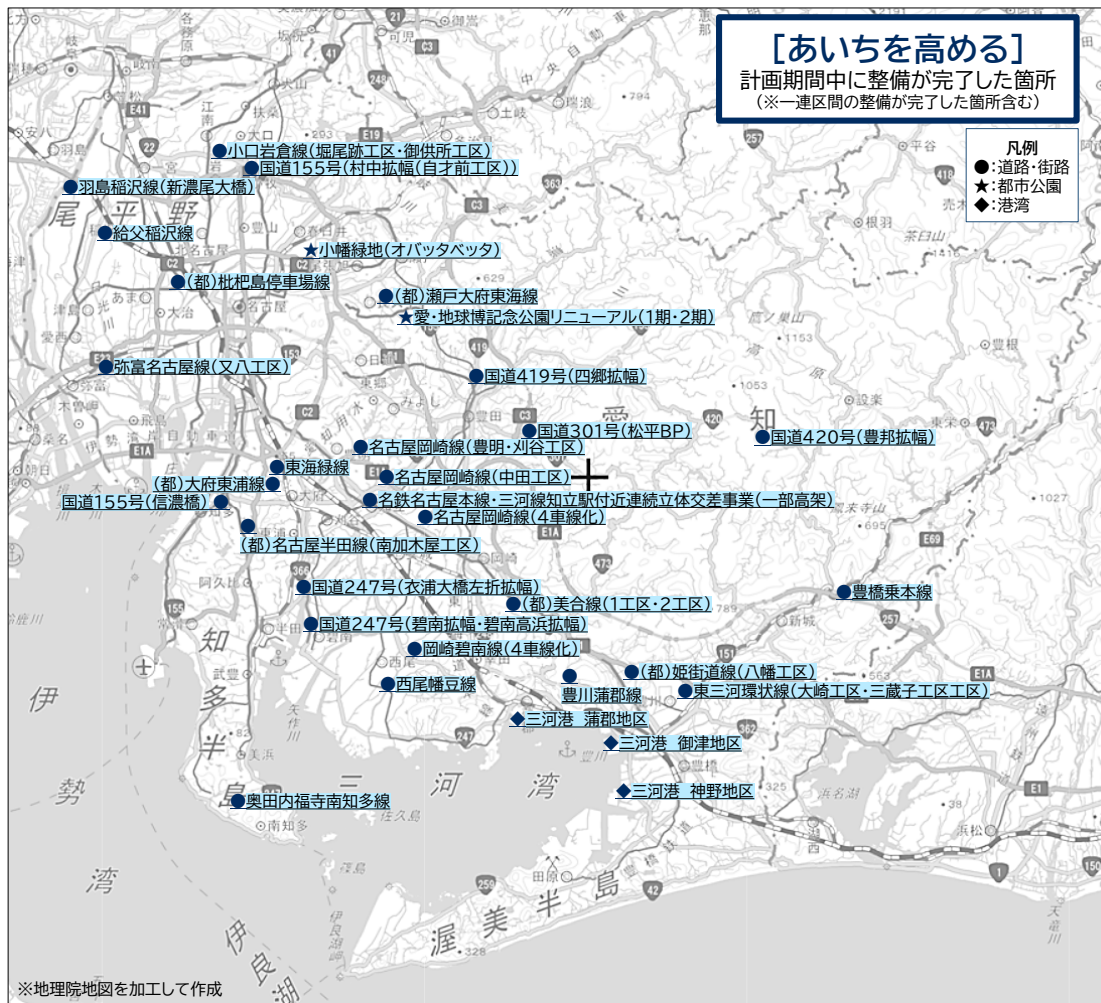


目標の達成状況(2025年度末)

●日本の成長を牽引する愛知の国際競争力を強化し、地域の活力を創出！

名豊道路全線開通、三遠南信自動車道愛知県区間の全線開通、西知多道路等の広域道路ネットワークの整備推進、名古屋港、衣浦港、三河港の港湾物流機能の強化、リニア中央新幹線及び中部国際空港の代替滑走路の整備促進により、陸・海・空が一体となる広域交通ネットワークの機能強化を図り、国際競争力を強化した。

さらに、愛・地球博記念公園の整備や連続立体交差事業を進め、地域の活性を図った。

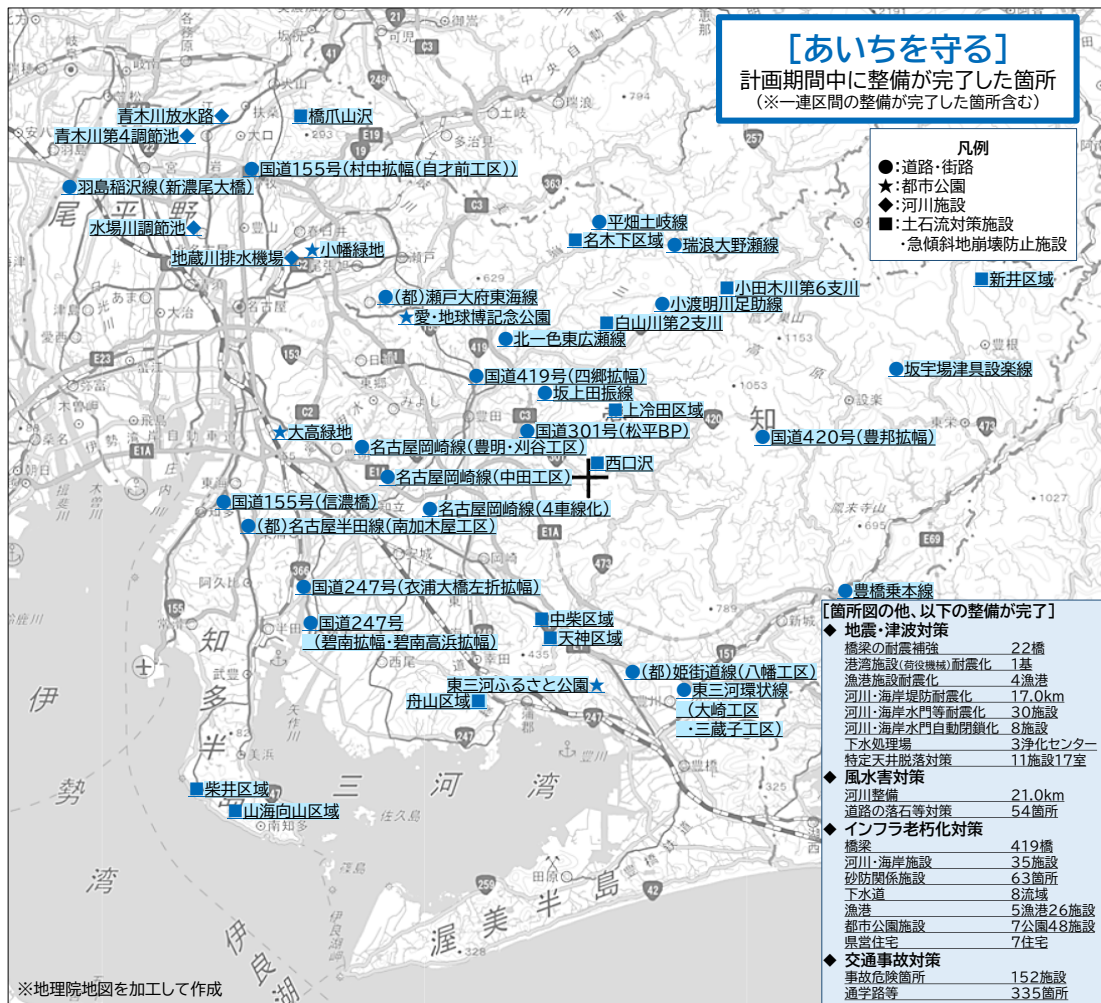


● 地震・津波、風水害から県民の生命・財産を守り、安全で安心な生活を支える！

切迫する大規模地震等への対策として、インフラ施設の耐震化や無電柱化を推進した。また、激甚化・頻発化する風水害への対策として、流域治水によるハード・ソフト一体となった浸水被害対策などを推進した。

インフラ施設の老朽化対策を加速化させるため、予防保全型メンテナンスへの転換を図り、修繕・更新を推進した。

交通事故対策や山間・離島の暮らしを支える道路や漁港の整備を進めた。



新川 堤防耐震化(名古屋市中川区)



逢妻男川 河川整備(豊田市)



豊橋海岸 堤防耐震化(豊橋市)



当知住宅長寿命化改善工事(名古屋市中区)



(主)田原高松線 歩道設置工事(田原市)



大高緑地 園路・広場整備(名古屋市中区)



(主)豊橋乗本線(新城市)



(一)花蔵寺花ノ木線 無電柱化(西尾市)



赤羽根漁港 防波堤強化(田原市)



神戸川水門改築(半田市)



舟山区域 かけ崩れ対策(幸田町)

● 地域が魅力にあふれ、県民が快適に暮らすことができる持続可能な社会を実現！

地域の魅力向上に資する道路や港湾の整備、快適な生活空間を創出する下水道や県営住宅の整備、自然環境の保全・創出のための港湾緑地整備、循環型社会の構築のための下水道エネルギーの有効活用などの取組を進めた。

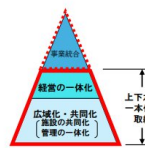
建設分野におけるカーボンニュートラルに向けた取組の推進



矢作川・豊川
カーボンニュートラルプロジェクトの推進
「CO₂削減に資するあいくる材」の認定

水循環とカーボンニュートラル

上下水道分野における一本化の取組



新組織の方向性

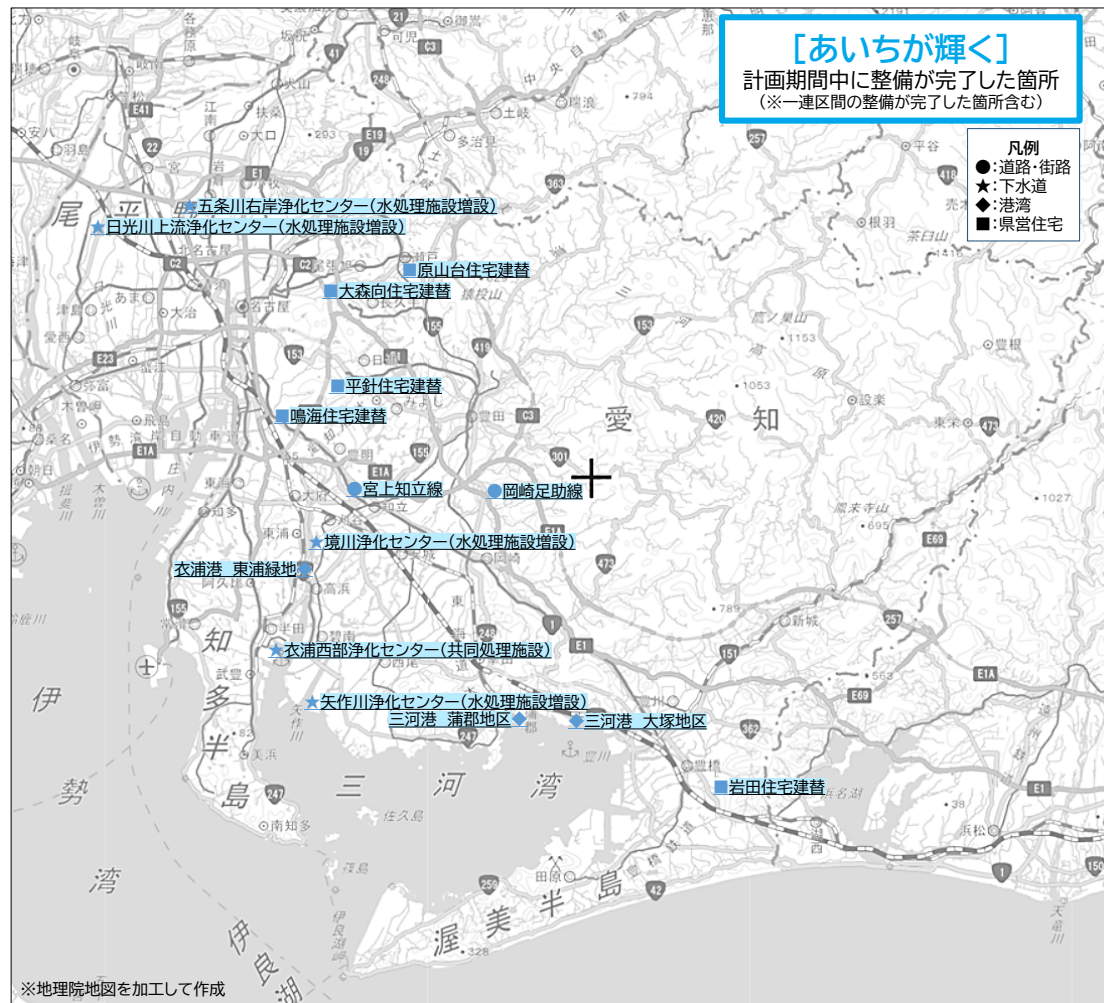
矢作川流域を中心とした西三河地域、豊川流域を中心とした東三河地域において、県と市町村が連携した上下水道の一本化に向けた取組を実施



境川浄化センター水処理施設増設(刈谷市)



五条川右岸浄化センター水処理施設増設(岩倉市)



三河港蒲郡地区 岸壁(蒲郡市)



(一)宮上知立線(中田工区)(豊田市)



(主)岡崎足助線(岡崎市)



矢作川浄化センター焼却炉(西尾市)



大森向住宅建替(名古屋市守山区)



衣浦西部浄化センター共同汚泥処理施設(半田市)



衣浦港 東浦緑地(東浦町)

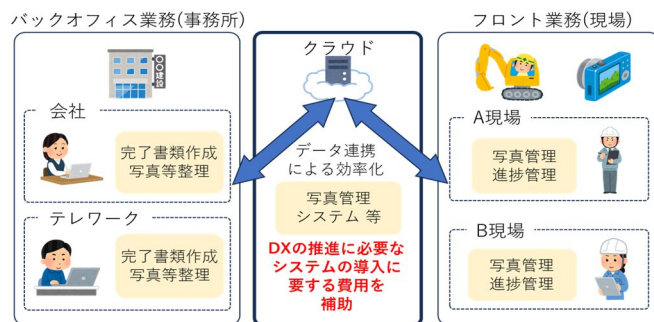


大塚地区 深堀れ跡の埋戻し・覆砂(蒲郡市)

生産性向上

あいちi-Construction2.0

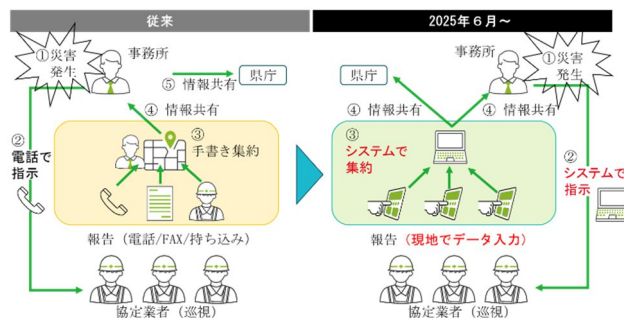
- 少ない人数でも、安全に、快適な環境で働く生産性の高い建設現場の実現を目指し、「あいちi-Construction2.0」を策定し、ICT施工や遠隔臨場の普及拡大などを進めた。また、建設業DX推進支援補助金を設立し、中小建設業におけるDXの推進を支援した。



建設業DX推進支援補助金

建設部門DX推進行動計画(2021-2025)

- 建設部門DX推進行動計画に基づき、あいち土木被害情報共有システム (AIDIS)の導入や、あいち建設情報共有システムの本格導入と市町村への導入支援等を進めた。



あいち土木被害情報共有システム(AIDIS)

担い手の確保

建設業の労働環境の改善

- 施工時期の平準化や週休2日工事の拡大と質の向上等の働き方改革を進めた。
- 熱中症対策を始めとする現場環境の改善、CCUS導入の促進等の取組を進めた。

建設分野の魅力発信

- 建設分野の魅力ややりがいを発信し、また公共事業への理解を深めてもらうため、あいち建設みらいサロン、現場見学会や出前講座を実施した。
- 県庁土木技術職員の確保・育成のため、体制を強化するとともに、SNSによる情報発信や相談会等を実施した。



技術系の学生・生徒を対象に、建設分野に携わる技術者との交流会を開催

【参加対象者】

- 建設分野専攻大学生、同大学院生、工業高等専門学校生、工業高校生、同教職員
- 建設系民間企業技術職員
- 建設系行政技術職員

あいち建設みらいサロン



SNSによる情報発信



土木職PR資料の刷新

取組指標 達成状況一覧

あいちを高める

：2021年度 ：2022年度 ：2023年度 ：2024年度 ：2025年度

取組方針	分野	No.	指 標	策定時	目標 [2025]	実績 [2025]	目標に対する達成割合(%)					
							0	20	40	60	80	100
陸・海・空 一体の 国際競争力の 強化	道路	1	空港・港湾へのアクセス道路の整備延長	－	10.3km	3.6km						
		2	生産拠点への物流等を支える道路の整備延長	－	10.2km	8.1km						
	港湾	3	衣浦港・三河港の岸壁整備率	62.6%	85.2%	96.2%						
		4	衣浦港・三河港のふ頭用地整備率	72.7%	99.4%	94.4%						
	公園	5	愛・地球博記念公園の来園者数	156万人	280万人	324万人						
地域の 活性化	道路	6	都市間・地域内の連携・交流を強化する道路の整備延長	－	49.6 km	25.2km						
	鉄道	7	事業区間内線路の高架代替率	15.4%	30.8%	23.1%						
	公園	8	民間活力を導入した施設の設置率	28.6%	85.7%	42.9%						

あいちを守る

取組方針	分野	No.	指 標	策定時	目標 [2025]	実績 [2025]	目標に対する達成割合(%)					
							0	20	40	60	80	100
地震・津波 対策	道路	9	緊急輸送道路の橋梁の耐震補強率	28%	46.5%	42.5%						
		10	緊急輸送道路の整備延長	－	46.3km	24.3km						
	港湾	11	港湾施設(大型荷役機械)の耐震化率	0%	100%	100%						
	漁港	12	漁港施設の耐震・耐津波強化率	41.8%	100%	93.6%						
	河川・海岸	13	河川・海岸堤防の耐震化率	67.8%	75.2%	80.6%						
		14	河川・海岸水門等の耐震化率	75.1%	86.8%	87.7%						
		15	河川・海岸水門の自動閉鎖化等の実施率	43.3%	76.7%	70.0%						
	下水	16	下水処理場の耐震化率	75%	85.1%	79.5%						
	建築	17	県有施設非構造部材等耐震対策(特定天井脱落対策)の実施率	42%	100%	100%						
	道路	18	緊急輸送道路の無電柱化の実施延長	32.5km	115.5km	106.2km						
	公園	19	広域防災活動拠点となる県営都市公園の整備率	64.3%	70.3%	72.5%						
風水害 対策	河川	20	河川の整備率	16.9%	18.7%	22.6%						
	河川・海岸	21	河川・海岸堤防の耐震化率【再掲No13】	67.8%	75.2%	80.6%						
	砂防	22	要配慮者利用施設及び避難所を保全する施設整備率	22%	26%	25.4%						
		23	土砂災害警戒区域における基礎調査(繰返し調査)の実施率	0%	100%	99.7%						
	道路	24	緊急輸送道路の落石等危険箇所の対策実施率	50%	56.2%	55.0%						
インフラ 老朽化対策	道路	25	機能に支障が生じる前の予防保全的な修繕実施率(橋梁)	0%	16.1%	15.0%						
	河川・海岸	26	河川・海岸水門等の老朽化対策率	26.2%	72.5%	49.7%						

取組指標 達成状況一覧

あいちを守る

：2021年度 ：2022年度 ：2023年度 ：2024年度 ：2025年度

取組方針	分野	No.	指 標	策定時	目標 [2025]	実績 [2025]	目標に対する達成割合(%)					
							0	20	40	60	80	100
インフラ 老朽化対策	砂防	27	健全度評価で要対策となった砂防関係施設の改築・修繕工事の実施率	1%	19.6%	35.3%						
	下水	28	ストックマネジメント計画に基づく老朽化対策の実施流域数	－	8流域	8流域						
	漁港	29	老朽化に対する漁港施設の健全率	95.5%	100%	99.3%						
	公園	30	老朽化した都市公園施設(遊具)の更新率	0%	100%	87.9%						
	住宅	31	県営住宅の長寿命化改善工事の実施戸数	－	875戸	1,817戸						
交通事故 対策	道路	32	事故危険箇所における死傷事故抑止率(事故危険箇所における対策箇所数)	－	157箇所	152箇所						
		33	子どもが日常的に移動する経路における危険箇所の対策実施率	67%	100%	96.5%						
山間・離島 対策	道路	34	山間地域における道路整備延長	－	20.7km	5.1km						
	漁港	35	漁港施設の耐震・耐津波強化率【再掲No12】	41.8%	100%	93.6%						

あいちが輝く

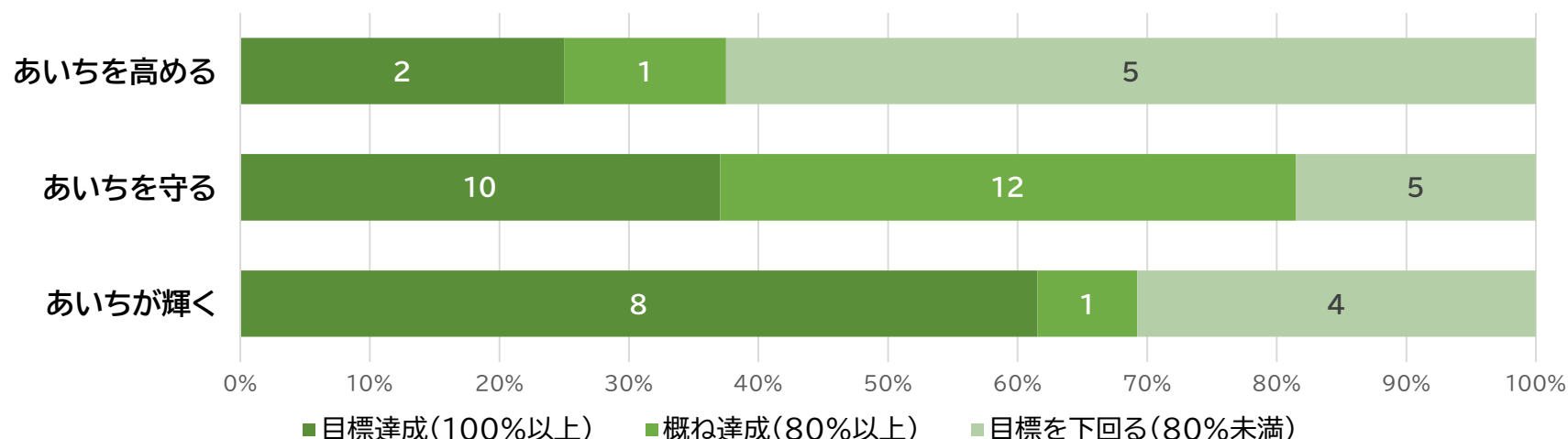
取組方針	分野	No.	指 標	策定時	目標 [2025]	実績 [2025]	目標に対する達成割合(%)					
							0	20	40	60	80	100
地域の 魅力向上	道路	36	観光地へのアクセス道路の整備延長	－	4.9km	3.3km						
	港湾	37	三河港蒲郡地区の岸壁整備率	86.8%	100%	100%						
		38	三河港蒲郡地区のふ頭用地整備率	86.2%	100%	95.5%						
	公園	39	県営都市公園における利用促進協議会の設置率	80%	100%	100%						
快適な生活 空間の創出	下水	40	下水道普及率	79.3%	84.6%	82.6%						
		41	汚水処理の広域化の実施率	0%	100%	100%						
		42	共同汚泥処理実施箇所数	－	1箇所	1箇所						
	住宅	43	県営住宅の建替工事の実施戸数	－	1,750戸	1,571戸						
自然環境の 保全・創出	港湾	44	港湾緑地の整備率	22.1%	29.5%	31.2%						
		45	三河湾の干潟・浅場造成、覆砂、深掘跡埋戻しの実施率	61.8%	62.7%	70.3%						
	公園	46	県営都市公園における生物多様性の保全再生活動達成率	90%	95.0%	109.0%						
	下水	47	下水道普及率【再掲No40】	79.3%	84.6%	82.6%						
循環型社会の構築	下水	48	下水道エネルギー活用施設数	3施設	5施設	5施設						

取組を支える方策

取組を支える方策	No.	指 標	策定時	目標 [2025]	実績 [2025]	目標に対する達成割合(%)					
						0	20	40	60	80	100
社会資本整備のデジタル化	49	ICTを活用した工事の実施率	21%	100%	100%						

取組指標 達成状況総括

◆ テーマ毎の取組指標の達成状況について



あいちを高める

- 愛・地球博記念公園や港湾の整備が順調に進むなど、**3項目で目標を達成または概ね達成**した。一方、道路整備の進捗や都市公園への民間活力の導入の遅れ等により5項目で目標を下回った。

あいちを守る

- 港湾、河川・海岸施設の耐震化整備、県有施設の特定天井対策、広域防災活動拠点となる都市公園の整備等の地震・津波対策、河川の整備や土砂災害警戒区域における基礎調査の実施等の風水害対策、橋梁の予防保全的修繕、砂防関係施設の改築・修繕、流域下水道でのストックマネジメント計画の推進や県営住宅の長寿命化改善工事等のインフラ老朽化対策、事故危険箇所での交通事故対策が順調に進むなど、**22項目で目標を達成または概ね達成**した。一方、山間地域の道路の整備や下水処理場の耐震化の遅れ等により5項目で目標を下回った。

あいちが輝く

- 汚水処理の広域化の実施、共同汚泥処理の実施、下水道エネルギーの活用、港湾緑地の整備や三河港の干潟・浅場造成、県営公園での利用促進協議会の設置や生物多様性の保全再生活動が進むなど、**9項目で目標を達成または概ね達成**した。一方、下水道普及率の進捗の遅れ等により4項目で目標を下回った。

目標を下回った項目については、工程の見直しなどを行いつつ、次期計画「あいち社会資本整備方針2030」に位置付けて、引き続き取組を推進する。

指標 No.1 空港・港湾へのアクセス道路の整備延長

【道路建設課】

空港・港湾などの国際物流・交流拠点と連携したアクセス道路の整備を進めるなど、陸・海・空一体となった広域交通ネットワークの強化に取り組んでいく。

策定時 [2020年度末]	目標 [2025年度末]	実績 [2025年度末]	達成状況
-	10.3km	3.6km	目標を 下回る (35.0%)

()内は目標に対する達成割合

計画期間における主な成果・実施箇所

物流拠点等へのアクセス路線となる(国)247号碧南高浜拡幅や(国)247号碧南拡幅の整備を進め、延長3.6kmを供用した。

〈主な実施箇所〉



(国)247号 碧南拡幅(碧南市)
(2025年12月 L=1.2km供用)



(国)247号 碧南高浜拡幅(碧南市・高浜市)
(2025年5月 L=2.0km供用)



(国)247号 衣浦大橋左折拡幅(半田市・高浜市)
(2023年3月 L=0.4km供用)

今後の見通し

用地取得や関係機関との協議に時間を要したこと等により計画期間内に供用できなかった国道151号一宮BP等については、引き続きあいち社会資本整備方針2030に位置付け、早期完了を目指す。

指標 No.2 生産拠点への物流等を支える道路の整備延長

【道路建設課】

工業団地の造成など民間投資と連携したアクセス道路の整備や、産業集積地における幹線道路ネットワークの強化、高規格幹線道路等へのアクセス道路の整備に取り組んでいく。

策定時 [2020年度末]	目標 [2025年度末]	実績 [2025年度末]	達成状況
-	10.2km	8.1km	目標を下回る (79.0%)

()内は目標に対する達成割合

計画期間における主な成果・実施箇所

(国)155号布袋拡幅での犬山線高架化に伴う踏切の渋滞緩和や、名古屋岡崎線バイパス豊明・刈谷工区の供用に伴う境川渡河部のミッシングリンク解消など、延長8.1kmを供用し物流交通の円滑化を図った。

〈主な実施箇所〉



(一)小口岩倉線(堀尾跡・御供所工区)(大口町)
(2026年3月 L=0.7km供用)



名古屋岡崎線(豊明・刈谷工区)(豊明市・刈谷市)
(2026年3月 L=0.8km供用)



(国)301号松平バイパス(豊田市)
(2023年3月 L=2.6km供用)

今後の見通し

用地取得や関係機関との協議に時間を要したこと等により計画期間内に供用できなかった国道419号四郷拡幅等については、引き続きあいち社会資本整備方針2030に位置付け、早期完了を目指す。

指標 No.3 衣浦港・三河港の岸壁整備率※

【港湾課】

本県が強い産業競争力で日本の経済と産業の成長を牽引できるよう、船舶の大型化や取扱貨物の増加に対応した岸壁などの施設整備に取り組んでいく。

※港湾計画に位置づけられた優先的に整備する施設(岸壁延長)のうち、整備が完了した施設(岸壁延長)の割合

策定時 [2020年度末]	目標 [2025年度末]	実績 [2025年度末]	達成状況
62.6%	85.2%	96.2%	達成 目標+11.0%

計画期間における主な成果・実施箇所

三河港蒲郡地区及び田原地区において岸壁整備を推進し、港湾機能の強化に取り組んだ。
蒲郡地区の岸壁130mを2021年度に供用した。田原地区は計画どおり、2023年度より整備に着手した。

〈主な実施箇所〉



三河港蒲郡地区(蒲郡市)
(2021年度 岸壁130m供用)



三河港田原地区(田原市)
(2026年度 岸壁170m供用予定)

今後の見通し

田原地区の岸壁については、2026年度内の供用に向け引き続き整備を推進する。

指標 No.4 衣浦港・三河港のふ頭用地整備率※

【港湾課】

本県が強い産業競争力で日本の経済と産業の成長を牽引できるよう、船舶の大型化や取扱貨物の増加に対応したふ頭用地などの施設整備に取り組んでいく。
※港湾計画に位置づけられた優先的に整備する施設(ふ頭用地面積)のうち、整備が完了した施設(ふ頭用地面積)の割合

策定時 [2020年度末]	目標 [2025年度末]	実績 [2025年度末]	達成状況
72.7%	99.4%	94.4%	概ね達成 (81.3%)

()内は目標に対する達成割合

計画期間における主な成果・実施箇所

三河港神野地区、御津地区ではふ頭用地の整備を進め、合計2.6haを供用した。
衣浦港中央ふ頭西地区では護岸の建設及び埋立工事、三河港蒲郡地区では埋立のための護岸整備を進めた。

〈主な実施箇所〉



衣浦港中央ふ頭西地区(半田市)
護岸工事・埋立工事



三河港神野地区(豊橋市)
2023年5月 ふ頭用地1.3ha供用



三河港御津地区(豊川市)
2021年6月 ふ頭用地1.3ha供用

今後の見通し

工事資材の高騰による施工方法の見直しにより一部完了できなかった整備箇所については、あいち社会資本整備方針2030に位置付け、早期完了を目指す。

指標 No.5 愛・地球博記念公園の来園者数

【公園緑地課】

愛・地球博記念公園では、将来増加する来園者に対応した施設を整備するとともに、国内外からの多くの来園者を気持ちよくお出迎えするため老朽化した施設を改修するなど、ジブリパーク整備と連携して公園施設の整備・改修に取り組んでいく。

策定時 [2020年度末]	目標 [2025年度末]	実績 [2025年度末]	達成状況
156万人	280万人	324万人	達成 目標+44万人

計画期間における主な成果・実施箇所

2022年10月のジブリパーク第1期オープン、2024年3月の第2期オープンに向けて、各公園施設を整備※し、目標を大幅に上回る数の来園者を受け入れることができた。

※整備した公園施設

第1期：北口広場（北口案内所等含む）、西口広場（西口休憩所・案内所等含む）、三日月休憩所、稲楼門広場、イベント広場、周遊園路、園内バス乗降場、北1・北2・東駐車場、路線バスターミナル、園外誘導装置、管理事務所等

第2期：魔女の谷の見える展望台、スロープカー、花の広場、猫の城遊具、APM乗降場等

共通：園内サイン、照明設備、受変電設備、電気通信設備、給水設備、長寿命化対策（散策デッキや木橋等）

〈主な実施箇所〉



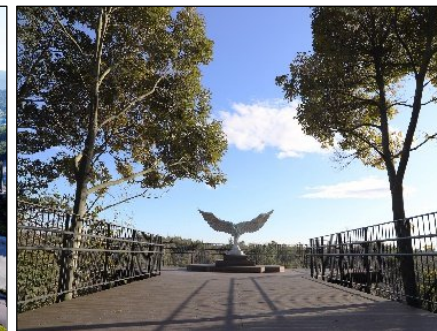
北口広場・北1駐車場



稲楼門広場



西口広場（休憩所・案内所）



魔女の谷の見える展望台

今後の見通し

今後も引き続き駐車場等の公園施設の整備・改修等、県営都市公園のさらなる進化について、引き続きあいち社会資本整備方針2030に位置付け取組を進める。

指標 No.6 都市間・地域内の連携・交流を強化する道路の整備延長

【道路建設課・都市整備課】

都市間や地域内の連携・交流を強固なものとする道路ネットワークの整備など、交流圏域の拡大に向けた取組を進めていくとともに、日常生活を支える生活道路の整備に取り組んでいく。

策定時 [2020年度末]	目標 [2025年度末]	実績 [2025年度末]	達成状況
-	49.6km	25.2km	目標を 下回る (51.0%)

()内は目標に対する達成割合

計画期間における主な成果・実施箇所

(国)155号村中拡幅(自才前工区)の4車線化による都市内交通の円滑化や、(一)奥田内福寺南知多線の供用による知多半島内陸部でのネットワーク強化など、延長25.2kmを供用し、都市間・地域内の連携・交流の強化を図った。

〈主な実施箇所〉



(国)155号 村中拡幅(自才前工区)(小牧市)
L=0.8km供用(2026年1月)



(一)奥田内福寺南知多線(南知多町・美浜町)
L=1.8km供用(2023年3月)



(主)東三河環状線(大崎工区)(豊川市)
L=1.6km供用(2023年5月)

今後の見通し

用地取得や関係機関との協議に時間を要したこと等により計画期間内に供用できなかった東三河環状線(三蔵子工区)等については、引き続きあいち社会資本整備方針2030に位置付け、早期完了を目指す。

指標 No.7 事業区間内線路の高架切替率

【都市整備課・道路建設課】

鉄道を高架化し、一定区間の踏切を除却することで、交通渋滞や踏切事故を解消するとともに、鉄道駅周辺のまちづくりを進め、良好な都市基盤の整備に取り組んでいく。

策定時 [2020年度末]	目標 [2025年度末]	実績 [2025年度末]	達成状況
15.4%	30.8%	23.1%	目標を下回る (50.0%)

()内は目標に対する達成割合

計画期間における主な成果・実施箇所

名鉄名古屋本線・三河線知立駅付近連続立体交差事業(知立市)、JR武豊線半田駅付近連続立体交差事業(半田市)、名鉄名古屋本線新清洲付近鉄道高架事業(清須市)及び名鉄尾西線荻安賀駅付近鉄道高架事業(一宮市)を進めた。

2023年3月には、名鉄名古屋本線・三河線知立駅付近の名古屋本線豊橋方面行きの鉄道を高架化し、1線路の高架切替を達成した。

<計画期間における実施箇所>

名鉄名古屋本線・三河線 知立駅付近連続立体交差事業	線路数5
JR武豊線 半田駅付近連続立体交差事業	線路数1
名鉄名古屋本線 新清洲駅付近鉄道高架事業	線路数2
名鉄尾西線 荻安賀駅付近鉄道高架事業	線路数1

<代表箇所・取組>



名鉄名古屋本線・三河線知立駅付近連続立体交差事業(知立市)
2023年3月 名古屋本線豊橋方面行き高架切替

今後の見通し

鉄道運行への安全配慮や狭小なヤードによる現場稼働時間の制約等により一部完了できなかった整備箇所については、引き続きあいち社会資本整備方針2030に位置付け、早期完了を目指す。

指標 No.8 民間活力を導入した施設の設置率※

【公園緑地課】

これまでに整備された緑の既存ストックを地域特性などに応じて有効に活用するため、民間活力の導入による公園施設等の整備や運営管理などの推進を図っていく。

※県営都市公園において民間活力の導入を予定している施設数のうち、民間活力を導入した施設数の割合

策定時 [2020年度末]	目標 [2025年度末]	実績 [2025年度末]	達成状況
28.6%	85.7%	42.9%	目標を下回る (25.0%)

()内は目標に対する達成割合

計画期間における主な成果・実施箇所

小幡緑地において、愛知県の都市公園で初めてPark-PFI制度を活用した「オバッタベッタ」を2021年6月にオープンした。
あいち健康の森公園において、2024年度にPark-PFI事業者の選定及び事業実施のための基本協定の締結、2025年度にPark-PFI事業者への設置管理許可を行い、2026年7月に「カラダうごかす森 Harappa」をオープンした。
その他の公園においてもサウンディング調査を実施した。

<主な実施箇所>



小幡緑地(オバッタベッタ)
オバッタベッタオープン(2021年6月)



あいち健康の森公園(カラダうごかす森 Harappa)
Park-PFI基本協定締結(2025年)、2026年7月オープン

今後の見通し

あいち健康の森公園の「カラダうごかす森 Harappa」は2026年6月に供用した。
県営都市公園のさらなる進化について、引き続きあいち社会資本整備方針2030に位置付け取組を進める。

指標 No.9 緊急輸送道路の橋梁の耐震補強率※

【道路維持課】

被災時の損傷を限定的なものに留め、速やかに通行が可能となるよう、橋梁の耐震性の強化に取り組んでいく。

※跨線橋、跨道橋、緊急輸送道路上に存在する耐震補強が必要な橋梁数のうち、耐震補強が完了した橋梁数の割合

策定時 [2020年度末]	目標 [2025年度末]	実績 [2025年度末]	達成状況
25%	46.5%	42.5%	概ね達成 (81%)

()内は目標に対する達成割合

計画期間における主な成果・実施箇所

地震対策アクションプランに基づき、緊急輸送道路における橋梁を対象として橋脚巻立て工等の耐震補強工事を進め合計22橋の補強が完了した。

<主な実施箇所>



(一)碧南半田常滑線東雲橋(半田市)
橋脚巻立て



(国)473号森下橋(北設楽郡東栄町)
橋脚巻立て

今後の見通し

関係機関との協議に時間を要したこと等により一部完了できなかった整備箇所については、引き続きあいち社会資本整備方針2030に位置付け、早期完了を目指す。

指標 No.10 緊急輸送道路の整備延長

【道路建設課・都市整備課】

被災時の緊急活動や物資輸送を支え、被災後の社会機能を維持できるよう陸上輸送を担う緊急輸送道路の整備に取り組んでいく。

策定時 [2020年度末]	目標 [2025年度末]	実績 [2025年度末]	達成状況
-	46.3km	24.3km	目標を下回る (52.0%)

()内は目標に対する達成割合

計画期間における主な成果・実施箇所

愛知・岐阜間の災害時の緊急輸送道路ネットワークを強化する(一)羽島稲沢線(新濃尾大橋)の開通や、山間部道路の耐災害性を向上する(国)420号豊邦東拡幅など、延長24.3kmの緊急輸送道路を供用した。

〈主な実施箇所〉



名古屋岡崎線(豊明・刈谷工区)(豊明市・刈谷市)
L=0.8km供用(2026年3月)



(一)羽島稲沢線(新濃尾大橋)(一宮市・羽島市)
L=2.6km供用(2025年5月)

今後の見通し

用地取得や関係機関との協議に時間を要したこと等により計画期間内に供用できなかった東三河環状線(三蔵子工区)等については、引き続きあいち社会資本整備方針2030に位置づけ、早期完了を目指す。

(1)地震・津波対策

指標 No.11 港湾施設(大型荷役機械)の耐震化率

【**港灣課**】

発災直後の避難から港湾物流機能の早期復旧までを効果的に進めるとともに、耐震強化岸壁の整備促進など、被災後も社会経済活動を維持できる災害に強い港湾の実現に取り組んでいく。

策定時
[2020年度末]

目標
[2025年度末]

実績
[2025年度末]

達成状況

0%

100%

100%

達成

計画期間における主な成果・実施箇所

三河港神野地区において大型荷役機械の耐震化を行い、発災時における施設機能の確保を図った。

＜主な実施箇所＞



三河港神野地区(豊橋市)
L大型荷役機械耐震化(2021年度完了)

今後の見通し

指標 No.12 漁港施設の耐震・耐津波強化率※

【港湾課】

発災直後の避難から水産物流通機能の早期復旧までを効果的に進めるとともに、耐震強化岸壁の整備促進など、被災後も社会経済活動を維持できる災害に強い漁港の実現に取り組んでいく。

※耐震・耐津波性能の優先的な対策が必要な漁港施設数のうち、対策が完了した施設数の割合

策定時 [2020年度末]	目標 [2025年度末]	実績 [2025年度末]	達成状況
41.8%	100%	93.6%	概ね達成 (89.0%)

()内は目標に対する達成割合

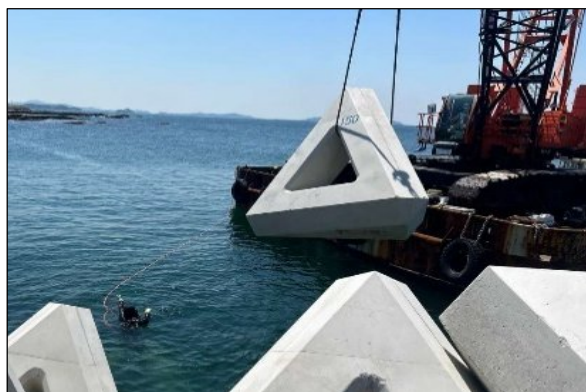
計画期間における主な成果・実施箇所

赤羽根漁港、師崎漁港、篠島漁港及び豊浜漁港において、防波堤耐震・耐津波強化対策工事を進め、赤羽根漁港のL=50mの対策が完了した。

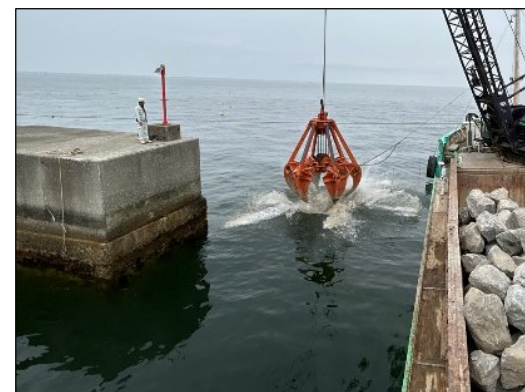
<主な実施箇所>



赤羽根漁港(田原市)
防波堤耐震・耐津波強化対策(L=50m完了)



豊浜漁港(南知多町)
防波堤耐震・耐津波強化対策(工事中)



篠島漁港(南知多町)
防波堤耐震・耐津波強化対策(工事中)

今後の見通し

工事資材の高騰等により一部完了できなかった整備箇所については、引き続きあいち社会資本整備方針2030に位置づけ、早期完了を目指す。

指標 No.13 河川・海岸堤防の耐震化率※

【河川課・港湾課】

県民の生命と財産を守り、安定的な産業活動を維持するため、河川・海岸堤防の耐震化など河川・海岸施設の地震・津波対策に取り組んでいく。また、津波が堤防を越えた場合にも、堤防等を流失しにくくするため、粘り強い構造への強化等に取り組んでいく。

※津波等による浸水により甚大な被害の恐れのある区間のうち、耐震化が完了した河川・海岸堤防延長の割合

策定時 [2020年度末]	目標 [2025年度末]	実績 [2025年度末]	達成状況
67.8%	75.2%	80.6%	達成 目標+5.4%

計画期間における主な成果・実施箇所

河川堤防では一級河川新川や二級河川日光川始め計8.53km、海岸堤防では豊橋海岸や東浦海岸始め計8.44kmで、地震時の堤防の沈下を抑え、津波の越水を防ぐ堤防耐震化工事を行った。

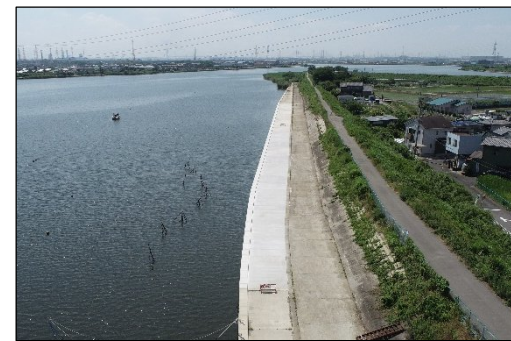
<主な実施箇所>



一級河川 新川(名古屋市中川区)
堤防耐震化



豊橋海岸(豊橋市)
堤防耐震化



二級河川 日光川(蟹江町)
堤防耐震化

今後の見通し

河川・海岸堤防の耐震化については、引き続きあいち社会資本整備方針2030に位置付け整備を進める。

指標 No.14 河川・海岸水門等の耐震化率※

【河川課・港湾課】

県民の生命と財産を守り、安定的な産業活動を維持するため、老朽化が進んでいる水門等の耐震化など河川・海岸施設の地震・津波対策に取り組んでいく。
※老朽化が進み、耐震化が必要な河川・海岸水門等の施設数のうち、耐震化が完了した施設数の割合

策定時 [2020年度末]	目標 [2025年度末]	実績 [2025年度末]	達成状況
75.1%	86.8%	87.7%	達成 目標+0.9%

計画期間における主な成果・実施箇所

地震後でも水門の開閉が確実にいき、津波を防ぐことができるよう、河川施設では神戸川水門や池尻川水門始め9施設、海岸施設では布土川樋門始め21施設の改築・耐震化工事が完了した。

<主な実施箇所>



神戸川水門(半田市)
耐震化(改築)



池尻川水門(田原市)
耐震化



布土川樋門(美浜町)
耐震化(改築)

今後の見通し

河川・海岸水門等の耐震化については、引き続きあいち社会資本整備方針2030に位置付け整備を進める。

指標 No.15 河川・海岸水門の自動閉鎖化等の実施率※

【河川課・港湾課】

県民の生命と財産を守り、安定的な産業活動を維持するため、津波到達時間の短い水門の自動閉鎖化など河川・海岸施設の地震・津波対策に取り組んでいく。
※津波到達時間が短く、自動閉鎖化・遠隔操作化が必要な河川・海岸水門の施設数のうち、自動閉鎖化・遠隔操作化が完了した施設数の割合

策定時 [2020年度末]	目標 [2025年度末]	実績 [2025年度末]	達成状況
43.3%	76.7%	70.0%	概ね達成 (80.0%)

()内は目標に対する達成割合

計画期間における主な成果・実施箇所

津波来襲時に速やかに水門を閉鎖するとともに、操作員の安全を確保できるよう、河川施設では天白川水門で自動閉鎖化工事が完了、海岸施設では布土川樋門や大浜漁港海岸水門始め7施設で改築・自動閉鎖化工事が完了した。

<主な実施箇所>



天白川水門(田原市)
自動閉鎖化



布土川樋門(美浜町)
自動閉鎖化(改築)



大浜漁港海岸水門(碧南市)
自動閉鎖化

今後の見通し

一部完了できなかった箇所も含め、河川・海岸水門の自動閉鎖化等の実施については、引き続きあいち社会資本整備方針2030に位置付け、早期完了を目指す。

指標 No.16 下水処理場の耐震化率

【上下水道課】

本県の流域下水道の耐震化率が処理場で75%(2019年度末)であることを踏まえ、耐震性の不足する施設に対して、耐震化に取り組んでいく。

策定時 [2020年度末]	目標 [2025年度末]	実績 [2025年度末]	達成状況
75%	85.1%	79.5%	目標を 下回る (40.6%)

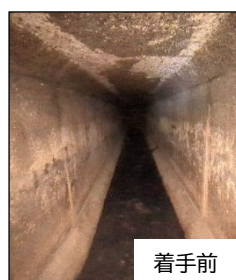
()内は目標に対する達成割合

計画期間における主な成果・実施箇所

矢作川浄化センター、豊川浄化センター、五条川左岸浄化センターにおいて、地震後も水処理機能を確保できるよう流入渠の継ぎ手耐震化など、合計13施設の耐震工事を実施した。

<主な実施箇所>

矢作川浄化センター	流入渠、 水処理施設
豊川浄化センター	沈砂池ポンプ棟、 水処理施設、管廊
五条川左岸浄化センター	急速ろ過施設



着手前



完了後

矢作川浄化センター(西尾市)
流入渠の継手耐震化



着手前



完了後

豊川浄化センター(豊川市)
沈砂池ポンプ棟の継手耐震化

今後の見通し

稼働中の施設で処理機能を確保しながら耐震化を進める必要があり、設備更新に合わせて耐震工事を実施する箇所等、一部完了できなかった整備箇所については、引き続きあいち社会資本整備方針2030に位置付け、早期完了を目指す。

指標 No.17 県有施設非構造部材等耐震対策(特定天井脱落対策)の実施率

【公共建築課】

人命保護の観点から、建築基準法が改正されたことを踏まえ、県有施設における大規模な天井の脱落対策に取り組んでいく。

策定時 [2020年度末]	目標 [2025年度末]	実績 [2025年度末]	達成状況
42%	100%	100%	達成

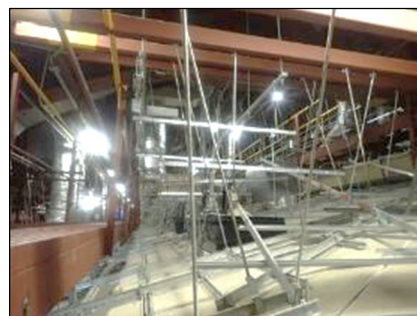
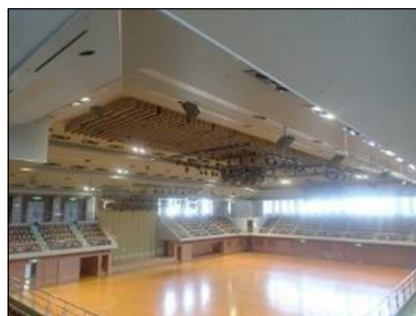
計画期間における主な成果・実施箇所

2023年度までに計画していた愛知県武道館や陶磁美術館始め11施設17室の対策工事を、施設管理者と連絡調整することで、施設利用者にも配慮しながら、計画どおり完了した。

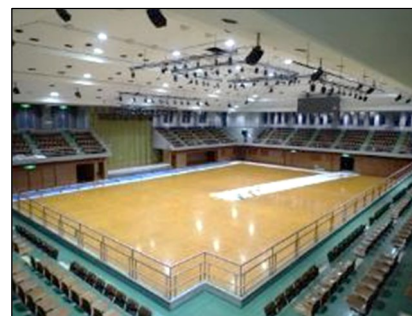
2024年度以降は、天井・外壁等落下防止対策に関する説明会・研修会支援を継続して行っている。

<主な実施箇所>

愛知県武道館(名古屋市)



対策工事前(左:大道場概観、右:対策前の天井裏)



対策工事後(左:大道場概観、右:対策後の天井裏)

今後の見通し

施設管理者に向けた天井・外壁等落下防止対策に関する説明会・研修会支援については継続して実施し、県有施設の安全確保に向けた取組みを推進する。

指標 No.18 緊急輸送道路の無電柱化の実施延長

【道路維持課】

魅力あふれる美しいまちなみを取り戻すとともに、安全で安心な暮らしを確保するため、「愛知県電線地中化推進協議会」などを活用し、道路管理者と電線等管理者で緊密に連携し、地元関係者の協力を得て、道路の無電柱化に取り組んでいく。

策定時 [2020年度末]	目標 [2025年度末]	実績 [2025年度末]	達成状況
32.5km	115.5km	106.2km	概ね達成 (88.8%)

()内は目標に対する達成割合

計画期間における主な成果・実施箇所

愛知県無電柱化推進計画(2021-2025)に基づき、防災を重点項目として緊急輸送道路を中心に無電柱化を進めるため、計画期間中に(一)花蔵寺花ノ木線や(一)一宮各務原線始め延長73.7kmで無電柱化事業に着手した。

<代表実施箇所>



(一)花蔵寺花ノ木線(西尾市) 無電柱化工事

今後の見通し

関係機関との協議に時間を要したこと等により一部着手できなかった整備箇所については、引き続きあいち社会資本整備方針2030に位置付け、早期完了を目指す。

指標 No.19 広域防災活動拠点となる県営都市公園の整備率※

【公園緑地課】

緑とオープンスペースを兼ね備える都市公園は、避難地、避難路あるいは救援活動の拠点として、量的拡大そのものが防災機能の増大を果たすことになるため、引き続き都市公園の整備を推進し、緑とオープンスペースの保全と創出に取り組んでいく。

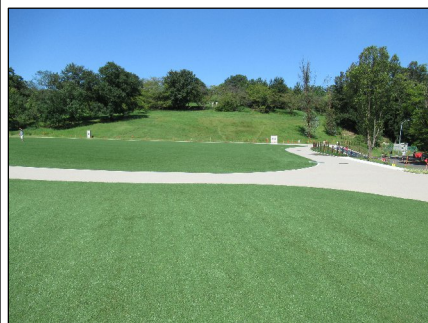
※広域防災拠点となっている県営都市公園の都市計画決定面積のうち、供用した面積の割合

策定時 [2020年度末]	目標 [2025年度末]	実績 [2025年度末]	達成状況
64.3%	70.3%	72.5%	達成 目標+2.2%

計画期間における主な成果・実施箇所

広域防災活動拠点に位置付けられている東三河ふるさと公園、愛・地球博記念公園、大高緑地、小幡緑地において、園路や広場の整備等を行い、避難地や避難路、救援活動といった防災活動の拠点となるとオープンスペースの保全と創出に取り組んだ。

<主な実施箇所>



大高緑地(名古屋市)
(若草山広場再整備)



大高緑地
(園路整備)



東三河ふるさと公園(豊川市)
園路整備



愛・地球博記念公園(長久手市)
駐車場整備

今後の見通し

県営都市公園の整備については、引き続きあいち社会資本整備方針2030に位置付け整備を推進する。

指標 No.20 河川の整備率※

【河川課】

県民の生命と財産を守り、安定的な経済活動を支えるよう、防災・減災が主流となる社会形成を目指し、あらゆる関係者により流域全体で対策行う「流域治水」としての洪水対策に取り組んでいく。

※洪水対策として河川整備計画に位置づけられた河川延長のうち、2025年度までに整備が完了する河川延長の割合

策定時 [2020年度末]	目標 [2025年度末]	実績 [2025年度末]	達成状況
16.9%	18.7%	22.6%	達成 目標+3.9%

計画期間における主な成果・実施箇所

一級河川合瀬川始め計20.98kmの区間において河道拡幅、護岸整備、河床掘削などの河川整備が完了した。
また、地蔵川排水機場、青木川放水路、水場川調節池、青木川第4調節池が完成した。

<主な実施箇所>



一級河川合瀬川(大口町)



二級河川福田川(名古屋市中川区)



二級河川逢妻男川(豊田市)

今後の見通し

河川の整備については、引き続きあいち社会資本整備方針2030に位置付け整備を進める。

指標 No.21 河川・海岸堤防の耐震化率※【再掲 No.13】

【河川課・港湾課】

県民の生命と財産を守り、安定的な産業活動を維持するため、河川・海岸堤防の耐震化など河川・海岸施設の地震・津波対策に取り組んでいく。また、津波が堤防を越えた場合にも、堤防等を流失しにくくするため、粘り強い構造への強化等に取り組んでいく。

※津波等による浸水により甚大な被害の恐れのある区間のうち、耐震化が完了した河川・海岸堤防延長の割合

策定時 [2020年度末]	目標 [2025年度末]	実績 [2025年度末]	達成状況
67.8%	75.2%	80.6%	達成 目標+5.4%

計画期間における主な成果・実施箇所

河川堤防では一級河川新川や二級河川日光川始め計8.53km、海岸堤防では豊橋海岸や東浦海岸始め計8.44kmで、地震時の堤防の沈下を抑え、津波の越水を防ぐ堤防耐震化工事を行った。

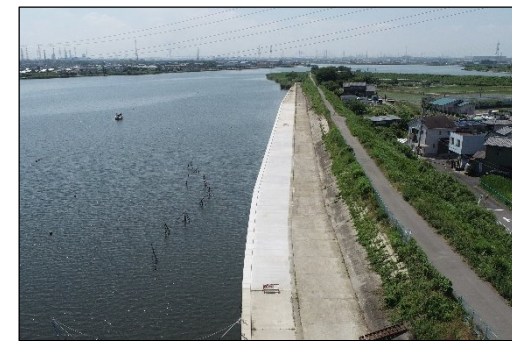
<主な実施箇所>



一級河川 新川(名古屋市中川区)
堤防耐震化



豊橋海岸(豊橋市)
堤防耐震化



二級河川 日光川(蟹江町)
堤防耐震化

今後の見通し

河川・海岸堤防の耐震化については、引き続きあいち社会資本整備方針2030に位置付け整備を進める。

指標 No.22 要配慮者利用施設及び避難所を保全する施設整備率

【砂防課】

県民の生命・財産を守り、安全・安心な生活を確保するため、土石流対策施設や急傾斜地崩壊防止施設などの整備による土砂災害防止対策に取り組んでいく。

策定時 [2020年度末]	目標 [2025年度末]	実績 [2025年度末]	達成状況
22%	26%	25.4%	目標を下回る (76.5%)

()内は目標に対する達成割合

計画期間における主な成果・実施箇所

要配慮者利用施設及び避難所を保全する施設の整備を重点的に進め、土石流危険渓流では小田木川第6支川始め4箇所、急傾斜地崩壊危険箇所では舟山区域始め9箇所の整備が完了した。

<主な実施箇所>



舟山区域(幸田町)
がけ崩れ対策



名木下区域(豊田市)
がけ崩れ対策

今後の見通し

関係者との調整に時間を要したことにより一部完了できなかった整備箇所については、引き続きあいち社会資本整備方針2030に位置付け、早期完了を目指す。

指標 No.23 土砂災害警戒区域における基礎調査(繰返し調査)の実施率

【砂防課】

県民の生命・財産を守り、安全・安心な生活を確保するため、土砂災害に対する警戒避難体制の強化などのソフト対策に取り組んでいく。

策定時 [2020年度末]	目標 [2025年度末]	実績 [2025年度末]	達成状況
0%	100%	99.7%	概ね達成 (99.7%)

()内は目標に対する達成割合

計画期間における主な成果・実施箇所

土砂災害防止法に基づく基礎調査は、過去に指定した区域を対象に、地形改変等により指定要件に変化がないか確認調査を実施している。基礎調査(繰返し調査)の対象箇所の16,989箇所については、2025年度までに16,940箇所を実施し、概ね完了した。未実施の箇所においては、2026年度に完了見込みである。

<主な実施箇所>



調査状況



調査状況

今後の見通し

基礎調査はおおむね5年毎に実施することとされているため2026年度以降も調査を継続し、地形改変等が確認された場合は区域指定を進める等、引き続きあいち社会資本整備方針2030に位置付け取組を進める。

指標 No.24 緊急輸送道路の落石等危険箇所の対策実施率

【道路維持課】

大規模災害時における救援活動や物資輸送を確保するための緊急輸送道路を中心に、路線の重要度や緊急度を考慮して、落石や崩土などの道路災害を防止する落石等防止対策に取り組んでいく。

策定時 [2020年度末]	目標 [2025年度末]	実績 [2025年度末]	達成状況
50%	56.2%	55.0%	概ね達成 (80.6%)

()内は目標に対する達成割合

計画期間における主な成果・実施箇所

国道151号など54箇所で、落石防護柵の整備や法枠工などの落石対策工事を実施した。

<主な実施箇所>



(国)151号(豊根村)
落石防護柵の整備



(国)473号(岡崎市)
法枠工の実施

今後の見通し

一部完了できなかった整備箇所については、引き続きあいち社会資本整備方針2030に位置付け、早期完了を目指す。

指標 No.25 機能に支障が生じる前の予防保全的な修繕実施率(橋梁)※

【道路維持課】

「道路構造物長寿命化計画」に基づく点検診断、措置、記録のメンテナンスサイクルを確実に実施し、予防保全型の維持管理を推進していく。

※健全度区分Ⅱ(予防保全段階)と診断された橋梁数のうち、修繕が完了した橋梁数の割合

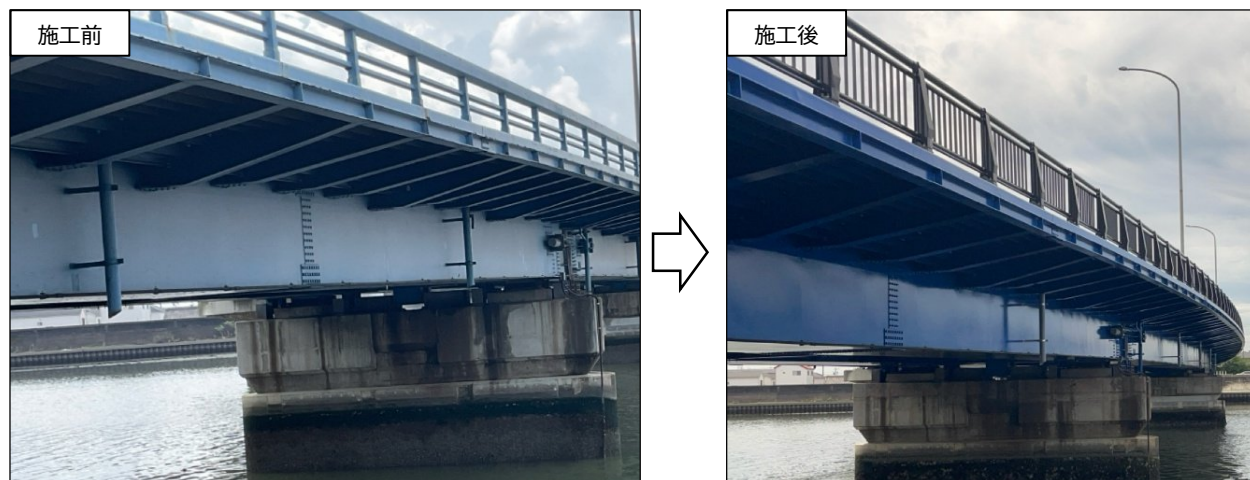
策定時 [2020年度末]	目標 [2025年度末]	実績 [2025年度末]	達成状況
-	16.1%	15.0%	概ね達成 (93.2%)

()内は目標に対する達成割合

計画期間における主な成果・実施箇所

道路構造物長寿命化修繕計画に基づき、橋梁の主桁や床版、支承などの予防保全的な修繕を進め、計画期間内に419橋の修繕が完了した。

<主な実施箇所>



(国)247号 千島橋(東海市) 橋梁修繕工事(塗装塗替え、高欄更新ほか)

今後の見通し

関係機関との協議に時間を要したこと等により一部完了できなかった整備箇所については、引き続きあいち社会資本整備方針2030に位置付け、早期完了を目指す。

指標 No.26 河川・海岸水門等の老朽化対策率

【河川課・港湾課】

「長寿命化計画」に基づく河川・海岸水門等の予防保全型の維持管理の推進に取り組んでいく。	策定時 [2020年度末]	目標 [2025年度末]	実績 [2025年度末]	達成状況
	26.2%	72.5%	49.7%	目標を下回る (50.7%)

()内は目標に対する達成割合

計画期間における主な成果・実施箇所

河川施設は池尻川水門始め7施設で、海岸施設は杉谷川樋門始め28施設で、長寿命化計画に基づき、扉体や設備の更新等の老朽化対策を実施した。

<主な実施箇所>



池尻川水門(田原市)
老朽化対策(扉体・開閉器の更新)



杉谷川樋門(美浜町)
老朽化対策(発電機の更新)

今後の見通し

耐震化を優先して実施する必要があったため目標を下回ったが、対策が必要となる施設については、引き続きあいち社会資本整備方針2030に位置付け、早期完了を目指す。

指標 No.27 健全度評価で要対策となった砂防関係施設の改築・修繕工事の実施率 【砂防課】

「砂防関係施設長寿命化計画」に基づく計画的な点検や緊急的に対策が必要な施設の修繕・更新など予防保全型の維持管理の推進に取り組んでいく。

策定時 [2020年度末]	目標 [2025年度末]	実績 [2025年度末]	達成状況
1%	19.6%	35.3%	達成 目標+15.7%

計画期間における主な成果・実施箇所

計画期間内に土石流対策施設は木瀬川右支川始め10箇所で、急傾斜地崩壊防止施設は高見区域始め53箇所で修繕・更新整備等を実施した。

<主な実施箇所>



木瀬川右支川堰堤（豊田市）：堰堤のひび割れ補修

今後の見通し

引き続きあいち社会資本整備方針2030に位置付け修繕・更新を進める。

指標 No.28 スtockマネジメント計画に基づく老朽化対策の実施流域数

【上下水道課】

長期的な施設の状態を予測し、点検・調査、修繕・改築を一体的に捉えた「下水道ストックマネジメント計画」に基づく計画的かつ効率的な老朽化対策の推進に取り組んでいく。

策定時 [2020年度末]	目標 [2025年度末]	実績 [2025年度末]	達成状況
-	8流域	8流域	達成

計画期間における主な成果・実施箇所

ストックマネジメント計画に基づき、8流域※において、計画的に水処理設備、ポンプ棟設備、污泥処理設備、監視制御設備等の施設の改築更新を実施した。

※8流域

矢作川浄化センター、境川浄化センター、衣浦西部浄化センター、衣浦東部浄化センター、豊川浄化センター、五条川左岸浄化センター、日光川上流浄化センター、五条川右岸浄化センター

<主な実施箇所>



着手前



完了後

五条川左岸浄化センター(小牧市)
1-2系散気装置更新



着手前



完了後

衣浦東部浄化センター(碧南市)
污泥燃料化施設熱交換器更新

今後の見通し

あいち社会資本整備方針2030においても「下水道ストックマネジメント計画」に基づく計画的かつ効率的な老朽化対策に取り組んでいく。

指標 No.29 老朽化に対する漁港施設の健全率※

【港湾課】

漁港施設の「機能保全計画」に基づく維持・更新に係る経費の一層の軽減と平準化、点検・診断、措置、記録のメンテナンスサイクルの確実な実施による施設の安全性の確保に取り組んでいく。

※機能保全計画を策定した漁港施設数のうち、健全な施設数及び2025年度までに対策を実施した施設数の割合

策定時 [2020年度末]	目標 [2025年度末]	実績 [2025年度末]	達成状況
95.5%	100%	99.3%	概ね達成 (84.4%)

()内は目標に対する達成割合

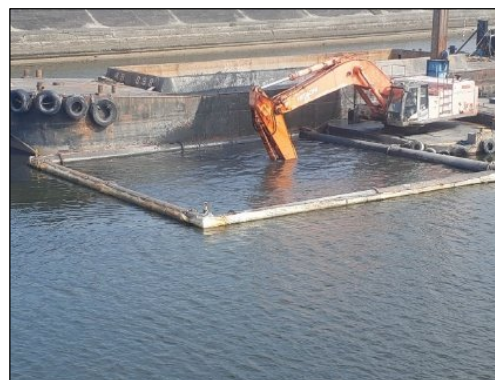
計画期間における主な成果・実施箇所

計画期間内において、一色漁港始め5漁港26施設において老朽化対策工事を実施した。

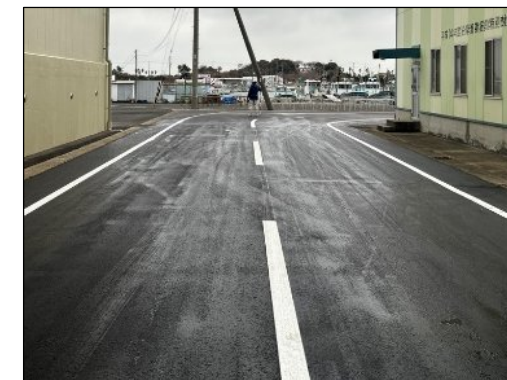
<計画期間における実施箇所>

豊浜漁港（南知多町）	・浮棧橋 1基
篠島漁港（南知多町）	・護岸 3箇所 ・浮棧橋 1基 ・道路 7箇所
師崎漁港（南知多町）	・道路 1箇所 ・物揚場 1箇所 ・泊地 2箇所
一色漁港（西尾市）	・航路・泊地 6箇所 ・物揚場 1箇所 ・護岸 1箇所 ・橋梁 1橋
赤羽根漁港（田原市）	・橋梁 1橋

<代表箇所・取組>



一色漁港 航路浚渫
(西尾市)



篠島漁港 舗装補修
(南知多町)

今後の見通し

工事資材の高騰等により一部完了できなかった整備箇所については、引き続きあいち社会資本整備方針2030に位置付け、早期完了を目指す。

指標 No.30 老朽化した都市公園施設(遊具)の更新率

【公園緑地課】

「愛知県公園施設長寿命化計画」に基づく日常的な点検、法令等で定められた施設の定期点検、施設の大規模な補修・更新など予防保全型の維持管理の推進に取り組んでいく。

策定時 [2020年度末]	目標 [2025年度末]	実績 [2025年度末]	達成状況
0%	100%	87.9%	概ね達成 (87.9%)

()内は目標に対する達成割合

計画期間における主な成果・実施箇所

愛知県公園施設長寿命化計画に基づき、従来の機能不全施設を修繕する「事後保全型管理」から、施設の延命化を考慮した「予防保全型管理」への転換を推進し、計画的・効率的に48施設で更新及び修繕を進めた。

<主な実施箇所>



小幡緑地(名古屋市)
遊具更新



あいち健康の森公園(大府市・東浦町)
遊具更新



新城総合公園(新城市)
遊具更新

今後の見通し

一部完了できなかった整備箇所については、引き続きあいち社会資本整備方針2030に位置付け、早期完了を目指す。

指標 No.31 県営住宅の長寿命化改善工事の実施戸数

【公営住宅課】

「愛知県営住宅長寿命化計画」に基づく計画的な定期点検や修繕の実施など予防保全型の維持管理の推進に取り組んでいく。

策定時 [2020年度末]	目標 [2025年度末]	実績 [2025年度末]	達成状況
-	875戸	1,817戸	達成 目標+942戸

計画期間における主な成果・実施箇所

計画期間内に、大森向住宅(守山区)を始め7住宅1,817戸の長寿命化改善工事に着手した。

<計画期間における実施箇所>

大森向住宅(守山区)	計 159戸
中川住宅(中川区)	計 255戸
伝治山住宅(緑区)	計 734戸
高針住宅(名東区)	計 294戸
当知住宅(港区)	計 230戸

<代表箇所・取組>



当知住宅(名古屋市港区)
長寿命化改善工事

今後の見通し

県営住宅ストックを安全・快適な状態で維持管理できるよう、引き続きあいち社会資本整備方針2030に位置付け取組を進める。

指標 No.32 事故危険箇所における死傷事故抑止率

【道路維持課】

事故の発生状況やビッグデータによる潜在的な危険箇所にも注目して、交通事故の発生割合が高い区間等を事故危険箇所として抽出し、効率的・効果的な交通事故対策に取り組んでいく。

策定時 [2020年度末]	目標 [2025年度末]	実績 [2025年度末]	達成状況
-	3割抑止 157箇所	152箇所	概ね達成 (96.8%)

()内は目標に対する達成割合

計画期間における主な成果・実施箇所

事故危険箇所における交通事故対策については、要対策箇所157箇所の内152箇所でカラー舗装などの対策が完了した。

<主な実施箇所>



(主)名古屋一宮線
標識設置



(一)江南木曽川線
カラー舗装等による速効対策



(主)一宮津島線
カラー舗装等による速効対策



(主)名古屋江南線
カラー舗装等による速効対策

今後の見通し

用地買収の遅れ等により一部完了できなかった整備箇所については、引き続きあいち社会資本整備方針2030に位置付け、早期完了を目指す。

指標 No.33 子どもが日常的に移動する経路における危険箇所の対策実施率

【道路維持課】

通学路や未就学児の園外活動ルートなど生活道路での交通安全対策の実施に取り組んでいく。

策定時 [2020年度末]	目標 [2025年度末]	実績 [2025年度末]	達成状況
67.1%	100%	96.5%	概ね達成 (89.4%)

()内は目標に対する達成割合

計画期間における主な成果・実施箇所

通学路等の交通安全対策については、要対策箇所348箇所のうち、335箇所で防護柵設置工事や歩道設置工事に着手した。

<主な実施箇所>



施工前



施工後

(一)浅田名古屋線(日進市) 防護柵設置工事



施工前



施工後

(主)田原高松線(田原市) 歩道設置工事

今後の見通し

用地買収の遅れ等により一部着手できなかった整備箇所については、引き続きあいち社会資本整備方針2030に位置付け、早期完了を目指す。

指標 No.34 山間地域における道路整備延長

【道路建設課】

山間地域における日常生活の移動や救急・消防防災活動を支え、観光・農業などの産業資源を最大限に活かすことのできる道路の整備に取り組んでいく。

策定時 [2020年度末]	目標 [2025年度末]	実績 [2025年度末]	達成状況
-	20.7km	5.1km	目標を下回る (25.0%)

()内は目標に対する達成割合

計画期間における主な成果・実施箇所

山間地域の生活や救急活動等に貢献する(一)坂上田振線や(主)豊橋乗本線の道路整備を進め、延長5.1kmを供用した。

〈主な実施箇所〉



(一)坂上田振線(豊田市)
L=0.4km供用(2025年12月)



(主)豊橋乗本線(新城市)
L=0.9km供用(2022年3月)

今後の見通し

用地取得や関係機関との協議に時間を要したこと等により計画期間内に供用できなかった国道419号和合拡幅等については、引き続きあいち社会資本整備方針2030に位置付け、早期完了を目指す。

指標 No.35 漁港施設の耐震・耐津波強化率※【再掲 No.12】

【港湾課】

発災直後の避難から水産物流通機能の早期復旧までを効果的に進めるとともに、耐震強化岸壁の整備促進など、被災後も社会経済活動を維持できる災害に強い漁港の実現に取り組んでいく。

※耐震・耐津波性能の優先的な対策が必要な漁港施設数のうち、対策が完了した施設数の割合

策定時 [2020年度末]	目標 [2025年度末]	実績 [2025年度末]	達成状況
41.8%	100%	93.6%	概ね達成 (89.0%)

()内は目標に対する達成割合

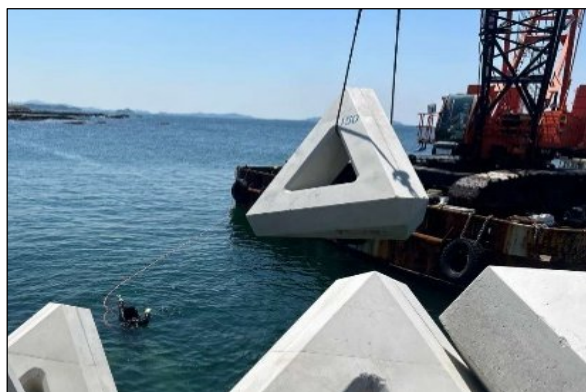
計画期間における主な成果・実施箇所

赤羽根漁港、師崎漁港、篠島漁港及び豊浜漁港において、防波堤耐震・耐津波強化対策工事を進め、赤羽根漁港のL=50mの対策が完了した。

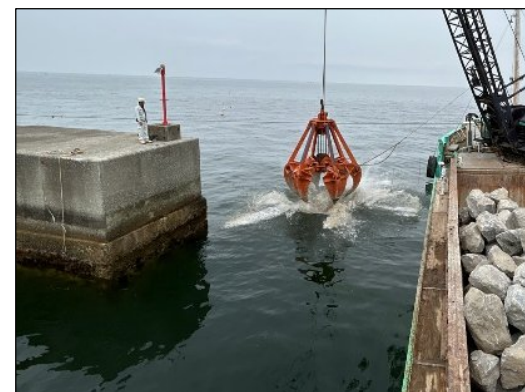
<主な実施箇所>



赤羽根漁港(田原市)
防波堤耐震・耐津波強化対策(L=50m完了)



豊浜漁港(南知多町)
防波堤耐震・耐津波強化対策(工事中)



篠島漁港(南知多町)
防波堤耐震・耐津波強化対策(工事中)

今後の見通し

工事資材の高騰等により一部完了できなかった整備箇所については、引き続きあいち社会資本整備方針2030に位置づけ、早期完了を目指す。

指標 No.36 観光地へのアクセス道路の整備延長

【道路建設課】

観光交流の活性化を図るため、観光客の移動円滑化などに寄与するアクセス道路の整備に取り組んでいく。

策定時 [2020年度末]	目標 [2025年度末]	実績 [2025年度末]	達成状況
-	4.9km	3.3km	目標を下回る (67.0%)

()内は目標に対する達成割合

計画期間における主な成果・実施箇所

「昇龍道Ukiyo-e Route」に関連する武将ゆかりの歴史観光資源へのアクセスとなる(主)岡崎足助線や(一)宮上知立線の整備を進め、新たに延長3.3kmを供用し、観光施設へのアクセス向上を図った。

〈主な実施箇所〉



(主)岡崎足助線(岡崎市)
L=1.1km供用(2023年3月)



(一)宮上知立線(中田工区)(豊田市)
L=1.1km供用(2022年12月)

今後の見通し

関係機関との協議に時間を要したこと等により計画期間内に供用できなかった主要地方道瀬戸設楽線等については、引き続きあいち社会資本整備方針2030に位置付け、早期完了を目指す。

指標 No.37 三河港蒲郡地区の岸壁整備率※

【港湾課】

訪日外国人旅行客に加え、日本人観光客や地域住民にとっても美しく快適な港湾空間の創出に取り組んでいく。

※港湾計画に位置づけられた優先的に整備する施設(岸壁延長)のうち、2025年度までに整備が完了する施設(岸壁延長)の割合

策定時 [2020年度末]	目標 [2025年度末]	実績 [2025年度末]	達成状況
86.8%	100%	100%	達成

計画期間における主な成果・実施箇所

三河港蒲郡地区の岸壁を整備し、2021年度に延長130mを供用した。

〈主な実施箇所〉



三河港蒲郡地区(蒲郡市)
(2021年度 岸壁130m供用)

今後の見通し

—

指標 No.38 三河港蒲郡地区のふ頭用地整備率※

【港湾課】

訪日外国人旅行者に加え、日本人観光客や地域住民にとっても美しく快適な港湾空間の創出に取り組んでいく。

※港湾計画に位置づけられた優先的に整備する施設(ふ頭用地面積)のうち、2025年度までに整備が完了する施設(ふ頭用地面積)の割合

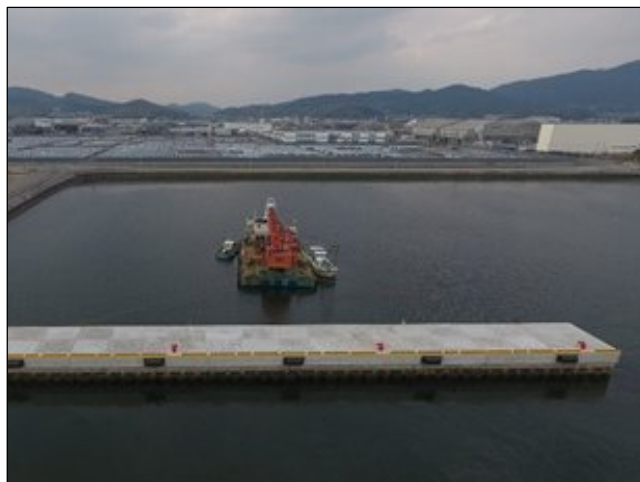
策定時 [2020年度末]	目標 [2025年度末]	実績 [2025年度末]	達成状況
86.2%	100%	95.5%	目標を下回る (67.6%)

()内は目標に対する達成割合

計画期間における主な成果・実施箇所

三河港蒲郡地区のふ頭用地造成のための護岸整備を推進した。

〈主な実施箇所〉



三河港蒲郡地区(蒲郡市)
護岸工事

今後の見通し

工事資材の高騰等により一部完了できなかった整備箇所については、引き続きあいち社会資本整備方針2030に位置づけ、早期完了を目指す。

指標 No.39 県営都市公園における利用促進協議会の設置率

【公園緑地課】

県営都市公園における地域との交流や振興を図ることを目的とした地元や周辺自治体などによる利用促進協議会の設立の促進に取り組んでいく。

策定時 [2020年度末]	目標 [2025年度末]	実績 [2025年度末]	達成状況
80%	100%	100%	達成

計画期間における主な成果・実施箇所

2021年度に、あいち健康の森公園で利用促進協議会が設置され、2019年度以降に新たに利用促進協議会を設置するとした全5公園(木曽川祖父江緑地、油ヶ淵水辺公園、東三河ふるさと公園、新城総合公園、あいち健康の森公園)全てで協議会が設置された。

その後、各協議会では利用促進の活動を実施し、油ヶ淵水辺公園ではイベント「油ヶ淵の夏」、「油ヶ淵の秋」を開催し、東三河ふるさと公園では「ふるさと満喫まつり」を開催した。

〈主な実施箇所〉



油ヶ淵水辺公園
油ヶ淵の秋



東三河ふるさと公園
ふるさと満喫まつり

今後の見通し

利用促進を目的とした活動等による県営都市公園のさらなる進化について、引き続きあいち社会資本整備方針2030に位置付け取組を進める。

指標 No.40 下水道普及率

【上下水道課】

「全県域污水適正処理構想※」に基づき、下水道未整備地域の早期解消に向けた取組を加速していくとともに、市町と一体となった効率的な流域下水道の整備を推進していく。

※本県において、下水道、農業・漁業集落排水施設、コミュニティプラント及び処理合併浄化槽など、それぞれの污水处理施設が、適切な役割分担のもと、事業を実施するため、各污水处理施設の有する特性や水環境の保全効果、地域特性や経済性等を、総合的に判断し、効率的な整備・運営手法を選定するための構想

策定時 [2020年度末]	目標 [2025年度末]	実績 [2025年度末]	達成状況
79.3%	84.6%	82.6%	目標を 下回る (62.3%)

()内は目標に対する達成割合

計画期間における主な成果・実施箇所

県による流域下水道の処理場の建設、管渠の延伸、市町村による面整備等を推進し、2025年度末の下水道普及率は82.6%となった。引き続き、未整備地域の早期解消に向けた取組を推進していく。

<主な実施箇所>

管渠整備 新川東部流域下水道、日光川下流流域下水道、新川西部流域下水道

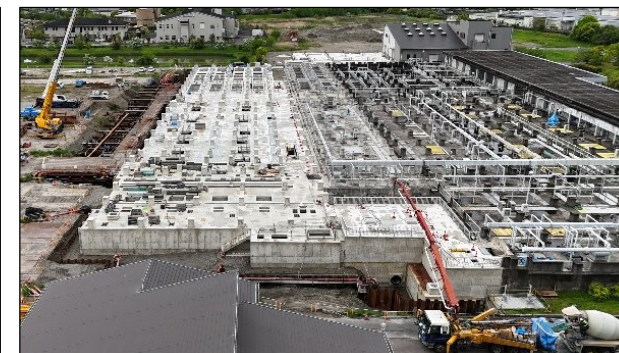
水処理施設増設 矢作川浄化センター、境川浄化センター、日光川上流浄化センター、五条川右岸浄化センター



新川西部流域下水道(清須市)
管渠整備



境川浄化センター(刈谷市)
水処理施設増設



五条川右岸浄化センター(岩倉市)
水処理施設増設

今後の見通し

未整備地域の早期解消に向けた取組を推進できるよう、引き続きあいち社会資本整備方針2030に位置付け取組を進める。

指標 No.41 汚水処理の広域化の実施率※

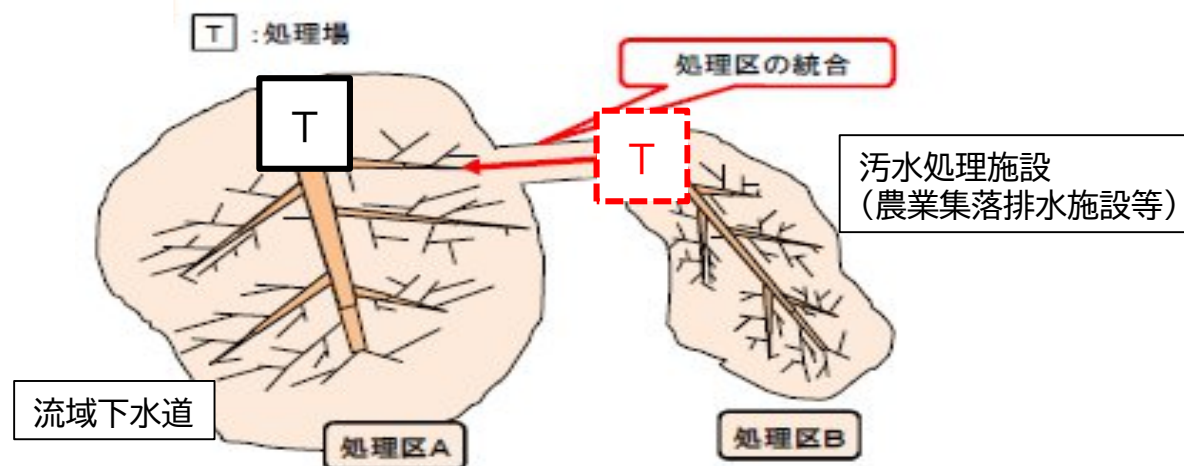
【上下水道課】

持続可能な下水道事業の運営を目指すため、流域下水道を核とした汚水処理施設の統廃合を推進し、下水道事業における広域化に取り組んでいく。
※2025年度までに流域下水道に接続する計画がある汚水処理施設数のうち、接続が完了した汚水処理施設数の割合

策定時 [2020年度末]	目標 [2025年度末]	実績 [2025年度末]	達成状況
0%	100%	100%	達成

計画期間における主な成果・実施箇所

計画期間中に大府市、豊明市、みよし市、武豊町、幸田町の農業集落排水施設及び豊田市、豊明市、東郷町、幸田町の集中浄化槽等を廃止し、各流域下水道へ接続した。
2025年度までに予定していた施設の統廃合は全て完了した。



今後の見通し

汚水処理の広域化・共同化計画に位置付けられた汚水処理施設の統廃合の内、2025年度以降に予定している取組は、引き続きあいち社会資本整備方針2030に位置付け取組を進める。

指標 No.42 共同汚泥処理実施箇所数

【上下水道課】

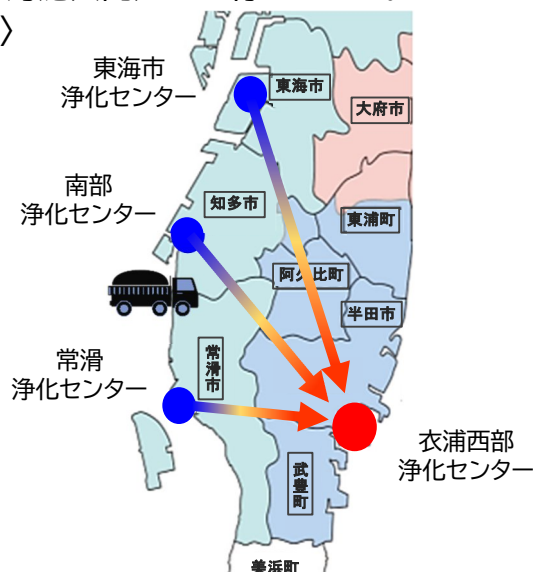
持続可能な下水道事業の運営を目指すため、流域下水道と単独公共下水道等の汚泥を集約処理する共同汚泥処理事業の推進に取り組んでいく。

策定時 [2020年度末]	目標 [2025年度末]	実績 [2025年度末]	達成状況
0箇所	1箇所	1箇所	達成

計画期間における主な成果・実施箇所

2022年度から、常滑市、東海市、知多市の浄化センターで発生する汚泥を衣浦西部浄化センターの汚泥とあわせて処理する共同汚泥処理施設の運転管理を開始した。知多3市からの汚泥を受け入れている衣浦西部3号焼却炉において、年2.0万t程度(2025年度実績)の汚泥共同処理を行っている。

〈主な実施箇所〉



衣浦西部浄化センター(半田市)
共同汚泥処理施設 2022年4月運転開始

今後の見通し

今後も下水道事業を効率的に運営していくため、引き続きあいち社会資本整備方針2030に位置付け取組を進める。

指標 No.43 県営住宅の建替工事の実施戸数

【公営住宅課】

住宅確保要配慮者が、それぞれの必要な広さや設備を備えた、適切な住宅を確保できるよう、住宅セーフティネットの中核をなす県営住宅の適切な供給に取り組んでいく。

策定時 [2020年度末]	目標 [2025年度末]	実績 [2025年度末]	達成状況
-	1,750戸	1,571戸	概ね達成 (89.8%)

()内は目標に対する達成割合

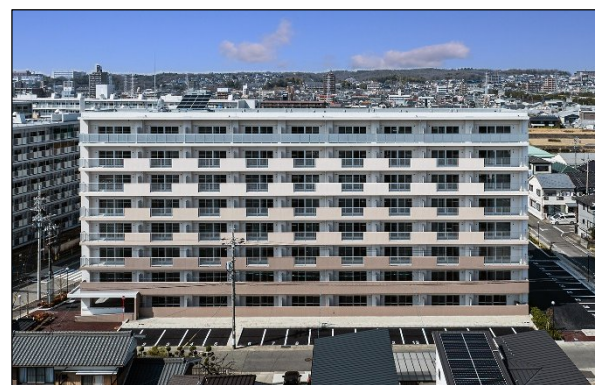
計画期間における主な成果・実施箇所

大森向住宅(守山区)始め13住宅 1,571戸の建替工事に着手した。
建設費が高騰するなか、民間活力導入等によりコスト縮減を図りつつ、県営住宅の整備を推進し、住宅セーフティネットとしての適切な供給に取り組んだ。

<計画期間における実施箇所>

大森向住宅(守山区)	計 126戸
原山台住宅(瀬戸市)	計 200戸
平針住宅(天白区)	計 219戸
岩田住宅(豊橋市)	計 120戸
鳴海住宅(緑区)	計 336戸

<代表箇所・取組>



大森向住宅(名古屋市守山区)
建替工事

今後の見通し

建設費の高騰等により一部着手できなかった住宅については、今後も住宅セーフティネットの役割を果たしていくため、引き続きあいち社会資本整備方針2030に位置付け、早期完了を目指す。

指標 No.44 港湾緑地の整備率※

【港湾課】

臨海部において交流・憩いの場となる港湾緑地の整備推進に取り組んでいく。
※港湾計画に位置づけられた優先的に整備する施設(緑地面積)のうち、整備が完了した施設(緑地面積)の割合

策定時 [2020年度末]	目標 [2025年度末]	実績 [2025年度末]	達成状況
22.1%	29.5%	31.2%	達成 目標+1.7%

計画期間における主な成果・実施箇所

衣浦港 東浦緑地(知多郡東浦町)については、園路や広場整備、四阿等修景施設の整備を進め、2021年度に2.9haの整備が完了した。三河港 御津緑地(豊川市)については、人工芝や駐車場の整備を進めている。

〈主な実施箇所〉



衣浦港 東浦緑地(知多郡東浦町)
2.9ha完成(2021年度)



三河港 御津緑地(豊川市)
工事中

今後の見通し

一部完了できなかった整備箇所については、引き続きあいち社会資本整備方針2030に位置づけ、早期完了を目指す。

指標 No.45 三河湾の干潟・浅場造成、覆砂、深掘跡埋戻しの実施率※

【港湾課】

物流・生産といった地域の経済活動を支える開発などで発生した海域の深掘れ跡の埋戻しや干潟・浅場造成、覆砂による海域環境の改善対策の推進に取り組んでいく。

※三河湾の覆砂、深掘跡埋戻し必要土量のうち、施工済みの土量の割合

策定時 [2020年度末]	目標 [2025年度末]	実績 [2025年度末]	達成状況
61.8%	62.7%	70.3%	達成 目標+7.6%

計画期間における主な成果・実施箇所

計画期間においては、三河港 大塚地区の深掘跡の埋戻しと覆砂に取り組んだ。
深掘跡の埋戻しについては、2021年度に完了しており、2022年度からは同箇所において覆砂を進めている。

〈主な実施箇所〉



大塚地区 深掘跡の埋戻し・覆砂位置



覆砂の作業状況

今後の見通し

海域環境の改善対策を推進するため、引き続きあいち社会資本整備方針2030に位置付け取組を進める。

指標 No.46 県営都市公園における生物多様性の保全再生活動※達成率

【公園緑地課】

多様な主体との協働による県営都市公園の生物の生息生育空間の保全・再生・創出の推進に取り組んでいく。

※市民団体等が主体的に取り組む様々な活動のうち、樹林地整備や竹の除伐、湿地再生など、生物多様性の保全再生に関する活動の回数

策定時 [2020年度末]	目標 [2025年度末]	実績 [2025年度末]	達成状況
90%	95.0%	109.0%	達成 目標+14.0%

計画期間における主な成果・実施箇所

大高緑地始め8公園※において、竹林保全整備、樹林環境保全整備活動が活発に行われ、2025年目標値(570回)を上回る654回の活動が行われた。引き続き、市民団体等が主体となって取り組む生物多様性の保全再生活動を推進していく。

※8公園…大高緑地、牧野ヶ池緑地、小幡緑地、新城総合公園、あいち健康の森公園、東三河ふるさと公園、愛・地球博記念公園、油ヶ淵水辺公園

<主な実施箇所>



樹林保全整備活動(大高緑地)

今後の見通し

引き続き、愛知県広域緑地計画等に基づき取組を進める。

指標 No.47 下水道普及率 【再掲 No.40】

【上下水道課】

「全県域污水適正処理構想※」に基づき、下水道未整備地域の早期解消に向けた取組を加速していくとともに、市町と一体となった効率的な流域下水道の整備を推進していく。

※本県において、下水道、農業・漁業集落排水施設、コミュニティプラント及び処理合併浄化槽など、それぞれの污水处理施設が、適切な役割分担のもと、事業を実施するため、各污水处理施設の有する特性や水環境の保全効果、地域特性や経済性等を、総合的に判断し、効率的な整備・運営手法を選定するための構想

策定時 [2020年度末]	目標 [2025年度末]	実績 [2025年度末]	達成状況
79.3%	84.6%	82.6%	目標を 下回る (62.3%)

()内は目標に対する達成割合

計画期間における主な成果・実施箇所

県による流域下水道の処理場の建設、管渠の延伸、市町村による面整備等を推進し、2025年度末の下水道普及率は82.6%となった。引き続き、未整備地域の早期解消に向けた取組を推進していく。

<主な実施箇所>

管渠整備 新川東部流域下水道、日光川下流流域下水道、新川西部流域下水道

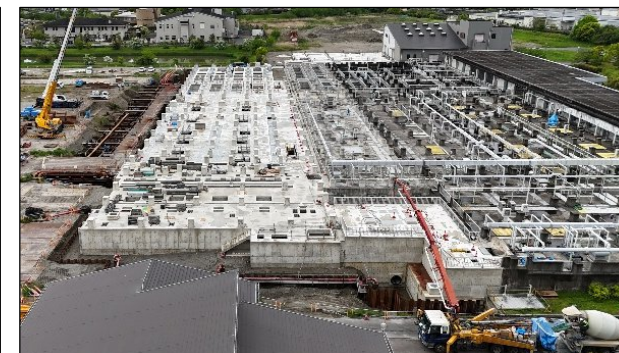
水処理施設増設 矢作川浄化センター、境川浄化センター、日光川上流浄化センター、五条川右岸浄化センター



新川西部流域下水道(清須市)
管渠整備



境川浄化センター(刈谷市)
水処理施設増設



五条川右岸浄化センター(岩倉市)
水処理施設増設

今後の見通し

未整備地域の早期解消に向けた取組を推進できるよう、引き続きあいち社会資本整備方針2030に位置付け取組を進める。

指標 No.48 下水道エネルギー活用施設数

【上下水道課】

本県の流域下水道では、地球温暖化対策や資源・エネルギーの地産地消はもとより、下水道事業運営における維持管理コストの縮減などの役割を果たすため、下水汚泥由来の再生可能エネルギーの利活用や下水道資源の有効利用による消費エネルギー削減などに取り組んでいく。

策定時 [2020年度末]	目標 [2025年度末]	実績 [2025年度末]	達成状況
3施設	5施設	5施設	達成

計画期間における主な成果・実施箇所

2022年度に衣浦西部浄化センター、2025年度に矢作川浄化センターにおいて焼却廃熱を利用した焼却炉の省電力化を行い、合計5施設で下水道エネルギーを活用し、安定した運転管理を行うことができた。

<計画期間における実施内容>

①矢作川浄化センター (西尾市)	運転管理 メタンガスを焼却炉の燃料として利用
②衣浦西部浄化センター (半田市)	運転管理(2022年度開始) 焼却廃熱を利用して焼却炉を省電力化
③衣浦東部浄化センター (碧南市)	運転管理 下水汚泥を炭化物にしてJERA 碧南火力発電所で燃料利用
④豊川浄化センター (豊橋市)	運転管理 PFI事業でメタンガスによる発電
⑤矢作川浄化センター (西尾市)	運転管理(2025年度開始) 焼却廃熱を利用して焼却炉を省電力化

<代表箇所>



④豊川浄化センター(豊橋市)
発電施設



①⑤矢作川浄化センター(西尾市)
焼却炉

今後の見通し

今後も下水道エネルギーの有効利用に取り組んでいくため、引き続きあいち社会資本整備方針2030に位置付け取組を進める。

指標 No.49 ICTを活用した工事の実施率※

【建設企画課】

ICT施工や調査・測量から設計、施工、検査、維持管理・更新までの建設生産プロセス全体における3次元データの活用などのi-Constructionの取組を一層推進していく。

※土工量1,000m³以上の工事のうち、ICTを活用した工事件数の割合。ただし地形など施工条件により実施効果が見込まれないものは除く。

策定時 [2020年度末]	目標 [2025年度末]	実績 [2025年度末]	達成状況
21%	100%	100%	達成

計画期間における主な成果・実施箇所

2022年度の発注者指定簡易型ICT活用工事新設により、発注者指定型全体の実施件数が増加し、2025年度の実施率は100%となった。

引き続き、愛知県 i-Construction推進協議会において業団体との意見交換を行い、制度改正や現場研修会の開催等によりICT活用工事の普及促進を図る。

<2025年度のICT土工※の実施件数>

形式	件数
発注者指定型	71件
受注者希望型	13件
計	84件

※土工量1,000m³以上



ICT建設機械による施工状況(菱池遊水地)

今後の見通し

生産性向上のための取組について、引き続きあいち社会資本整備方針2030に位置付け取組を進める。

2026年度から2030年度までを計画期間とする「あいち社会資本整備方針2030」を2025年12月に策定しました。
今後、本方針に基づく取組を進めていきます。

あいち社会資本整備方針2030

～日本一元気なあいちづくり～

1 成長する大都市圏づくり

ストック効果の高い社会資本の整備により、陸・海・空一体の国際競争力を高めるとともに、まちを活性化する「成長する大都市圏づくり」に向けた取組を計画的に進めていく。

- ◆ 陸・海・空一体の国際競争力を高める
- ◆ まちを活性化

2 安全・安心な県土づくり

防災、減災対策及びインフラ老朽化対策により国土強靱化の更なる加速化・深化を図るとともに、交通安全対策を強化する「安全・安心な県土づくり」に向けた取組を計画的に進めていく。

- ◆ 防災、減災対策(地震・津波対策、気象災害対策)を加速
- ◆ インフラ老朽化対策を加速
- ◆ 交通安全対策を強化

3 魅力的な地域づくり

愛知ならではの多様な魅力の向上を図るとともに、誰もが快適に暮らせる生活空間を創出し、さらには、山間部や離島の暮らしを支える「魅力的な地域づくり」に向けた取組を計画的に進めていく。

- ◆ 地域の魅力を向上
- ◆ 山間や離島の暮らしを支える
- ◆ 快適な生活空間の創出

4 持続可能な社会づくり

脱炭素に向けた取組をあらゆる施策で行うとともに、自然環境の保全・創出及び循環型社会の構築を図る「持続可能な社会づくり」に向けた取組を計画的に進めていく。

- ◆ 脱炭素社会(カーボンニュートラル)に向けて
- ◆ 自然環境の保全・創出
- ◆ 循環型社会の構築

取組改善(未来へつなぐ仕組み・土台づくり)

◆ DXを推進

◆ 働き方改革の推進、担い手の確保

◆ その他取組改善

